



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。(エレミヤ 31: 3~4)」



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0027 横浜市緑区長津田 7-17-16-503 TEL:090-8729-0856
- ホームページ：<http://eli.holy.jp> ●メール：eternalloveisrael@gmail.com
- 銀行口座：三菱東京 UFJ 銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル

代表：宮本 純子

☆ユダヤ人と共に祝うハヌカ

宮本 純子☆



ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。
愛するみなさま。いつもお祈りと尊い献金でエターナル・ラブ・イスラエルを支えてくださり本当にありがとうございます。

2020年、東京オリンピックがある今年も主と共にユダヤ人伝道に励んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

昨年末は、日本ユダヤ教団でのハヌカ・パーティーやハバッド主催の東京タワーの麓でのハヌカ・パーティーに参加しました。

ハヌカは、ヘブライ語で「奉納」とか「献堂」という意味です。祭りはユダヤ暦キスレブ月の 25 日から 8 日間祝われます。神殿を占拠したギリシア軍は、神殿の燭台(メノラー)を点す油の壺をみな汚したのですが、神殿解放の日、1つの油壺が大祭司の封印のまま見つかったのです。わずか 1 日分にも満たなかった油が、点してみると何と 8 日間も燃え続けたのです。ハヌカはこの奇跡を記念した祭日です。



別名、「光の祭り」とも呼ばれます。ハヌカには、神殿にあった 7 枝のメノラーではなく、ハヌキヤという 9 本の燭台を用います。8 日間にわたり、蠟燭を 1 日ごとに 1 本ずつ増やしながらかきつけていき、8 日目に全部の蠟燭が点るようにします。点火用のろうそくは、「シャマシュ」という呼び名がついています。

昨年末も東京タワーの麓の広場には、多くのユダヤ人たちが集まりました。

夜の暗闇に輝く東京タワーは、まさにキャンドルです。私は、多くの在日ユダヤ

(写真: 自民党の中山泰秀議員と)人と一緒にハヌカ(宮潔め)のお祭りをお祝いできて本当に幸せでした。



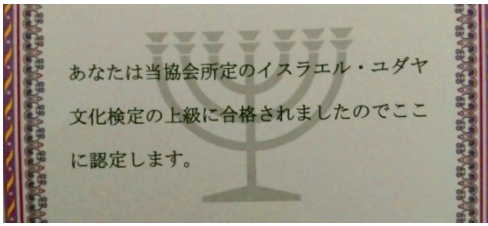
「すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。この方はもともと世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。この方はご自分のくににいられたのに。ご自分の民は受け入れなかった。しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」(ヨハネ 1:9~12)

まことの光としてこられたイエスさまによる救いの光が、一人一人を照らし、全世界を照らしていきますように。日本からも福音の救いの光が全世界に照らされますように。

(写真: ヤッフア・ベン・アリ駐日イスラエル大使)

今も光を待ち望んでいる世界中のユダヤ人が、まことの光であるイエス様を受け入れて、信じて救われますように心からお祈り致します。

☆第7回イスラエル・ユダヤ文化検定で上級合格☆



(写真:黒川知文氏と。)イスラエル・ユダヤに関心や興味を持ち、学ぶことは素晴らしいことだと思います。

昨年末、初めて「イスラエル・ユダヤ文化検定」を受検しました。この試験問題の作成、採点、合否判断は、市川裕氏(東京大学教授)、池田明史氏(東洋英和女学院大学学長)、黒川知文氏(中央学院大学教授)なので、かなり難易度の高い検定試験です。上級合格者は、ほとんど出ないと言われています。受検者の9割が現役のユダヤ学やイスラエルに関心があり学んでいる学生がほとんどです。

私は、無事に上級を合格しました。主に心から感謝いたします。

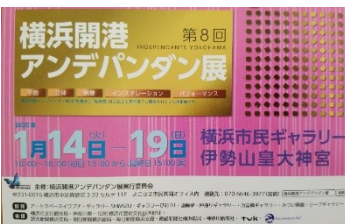
黒川知文氏とお会いし、上級合格者だと告げましたら大変驚かれました。私は、常に世界は瞬時に動き、変化し、歴史を作っていくので、イスラエル情勢、中東情勢、世界情勢を注視する必要があると思います。イスラエル・ユダヤの歴史や文化、宗教、地理、環境、芸術などあらゆる知識を学ぶことは、ユダヤ人伝道をしていく上でもとても大切なことだと思っています。これからの世界を背負っていく青年たちが、

☆LCJE 日本支部東京&エターナル・ラブ・イスラエル合同祈り会☆

2020年1月11日、御茶ノ水クリスチャンセンターにてLCJE(ローザンヌ・ユダヤ人伝道協議会)日本支部東京とエターナル・ラブ・イスラエルの祈り会を開催しました。「永遠の愛でイスラエルを愛する」というタイトルでお話させて頂きました。この機会を与えてくださったLCJE日本支部の早川衛先生に心から感謝申し上げます。

LCJEは、ユダヤ人伝道の大切なネットワークです。これからも協力しながらユダヤ人に福音をお伝え出来れば感謝です。よろしくお願い申し上げます。

☆横浜開港アンデパンダン展に出展(アートミニストリー)☆



1月14日から19日、横浜市民ギャラリーにて開催された横浜開港アンデパンダン展に出展させて頂きました。林文子横浜市長もお越し下さり、案内させて頂きました。嬉しかったです。多くの方に私の描いた絵を見て頂けて感謝でした。アートミニストリーの活動の一環として、これからも福音を伝える絵を描いていきますので、よろしくお願いいたします。

(写真:林文子横浜市長と。→)



2月11日、コレン・アビブさんと会いました。コレンさんは、日本に15年住んでいます。奥様は、日本人なので、コレンさんは流暢な日本語を話します。イスラエルについていろいろお聞きしました。イスラエルは物価が高く、野菜も果物も値段が高くなったので、日本の方が安くて住みやすいそうです。ただ、食物や習慣の違いがあるので困る時もあるそうです。イスラエルでは、幼い頃から歌や生活文化、祭りの中で聖書を覚え、神様と宗教を大事にしていますが、日本では宗教的ではない人が多いので生活の中で戸惑うこともあるそうです。コレンさんのためにお祈りください。

☆在日ユダヤ人コレン・アビブさん☆

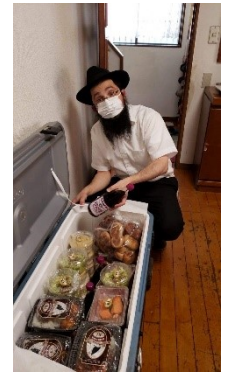


(写真:コレン・アビブ氏と。)戸惑うこともあるそうです。コレンさんのためにお祈りください。

☆ラビからコーシェルフード(食物規定)を学ぶ☆



2月13日、日本ユダヤ教団にてハバッドハウス主催のコーシェル(食物規定)の食事付きで学びました。ラビのベニヤミン・エデリーさんは、「日本の役立つことをしに行きなさい。」と使命を受け1999年来日。在日ユダヤ人、来日ユダヤ人たちに心の拠り所を提供。東日本大震災の際には、被災地に赴いて日本の被災者への炊き出しなどの日本人への献身的なボランティア活動を行って、宮城県岩沼市より感謝状を贈られる。2013年、日本での長年の奉仕活動が認められて、日本政府より、永住権が与えられる。2015年、日本初の首席ラビに就任。(写真は、船に食物と物資を届けるラビ↑)現在、10人の子を持つ父で、子どもたちは全員、日本で生まれ育ちました。



ラビは、横浜港に停泊中のダイヤモンド・プリンセス号に乗車していたイスラエル人たちにコーシェルフードや必要な物資などを届けました。2週間も部屋から出ることさえ許されず、新型コロナウイルスへの感染リスクという不安の中にいた彼らにとって、それは大きな励ましと助けだったに違いありません。

ラビは、自らは厳しい戒律を守りながらも、ユダヤ教徒、異教徒の分け隔てなく寛容で親切で明るくて陽気なお人柄です。すべて手作りのコーシェルフードも大変美味しかったです。心から感謝致します。

☆ポーランドとリトアニアのユダヤ人の運命について☆



2月20日、日本ユダヤ教団にて、日本イスラエル親善協会主催の講演会「ポーランドとリトアニアのユダヤ人の運命」で受付をさせて頂きました。

講師の白石和子氏は、第2リトアニア駐節特命全権大使、特命全権大使(女性・人権人道担当兼北極担当大使)など政府の要職を務めた。外務省条約局条約課課長補佐、ニューヨーク総領事館領事、在アトランタ総領事館首席領事、総合外交政策局外交政策調査官、在ポーランド大使館公使参事官などを歴任。ポーランド共和国功勞勲章受章。現在は「杉原千畝記念財団」の理事他。

外交問題の専門家である白石和子氏から反ユダヤに至る歴史とユダヤ人のたどった運命を詳しく解説とともに大変貴重なお話をお伺いしました。大変勉強になりました。(写真:白石和子氏と。)

☆東欧ユダヤ音楽☆



2月23日、「東欧ユダヤ音楽ワークショップ」に参加しました。イーディッシュダンスとクレズマー音楽、イーディッシュ民謡と東欧のユダヤ人の生活文化について学びました。

24日、「シャガールが愛した、故郷の旋律」東欧ユダヤ音楽、クレズマー演奏会が開催されました。素晴らしいコンサートでした。楽しい時を共に過ごせて感謝致します!

(写真:音楽家でありイーディッシュダンスのマーク氏とシェンディー氏と共に。)



☆お知らせ☆

●6月7日(日)「エターナル・ラブ・イスラエル 2020 コンサート」を予定しています。詳細はチラシをご覧ください。

☆祈りのリクエスト☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が榮えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁榮があるように。』」(詩篇 122:6~7)



☆神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、平和の町であるエルサレム、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心だけが成ります様に。

☆イスラエルの国政政治、国内情勢のためにお祈りください。

☆トランプ大統領、ネタニヤフ首相はじめ、世界中の政治的指導者たちが救われて、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を平和に進めて行く事が出来ます様に。

☆新型コロナウイルスの感染拡大が世界中から一刻も早く収束しますように。コロナウイルスの検査がスムーズに受けられますように。ワクチンや治療などの開発も進みますように。神様のご介入と助けを切に祈り求めます。

☆「エル・アル航空」は、日本とイスラエルを結ぶ直行便を3月に就航予定していましたが、新型コロナウイルスの影響によっておよそ1か月間の4月4日に就航延期としました。イスラエル政府は、日本国内で新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、2月24日以降、過去14日間に日本に滞在した外国人の入国を拒否し、日本への渡航も見合わせるよう自国民に勧告しています。このことによってイスラエルへの観光旅行や講演会、さまざまな影響が出ています。どうかイスラエルと日本との交流と親睦がストップすることがないようにお祈りください。

☆東京2020オリンピック、パラリンピックの開催のために。イスラエルから来日する選手や応援に来る方も多くなります。エターナル・ラブ・イスラエルもイスラエル柔道選手団をサポートしますし、良き伝道の時になりますので、どうか東京2020オリンピック、パラリンピックの開催を神様が最善に導いてくださいますようにお祈りください。

☆世界中に住んでいるユダヤ人に福音が伝えられ、全てのユダヤ人がイエス様を信じて救われます様に。

☆イエス様を信じているメシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエルがリバイバルされます様に。又、日本がリバイバル、世界中がリバイバルされて、神様の御心がこの地に成ります様に。

☆在日ユダヤ人、又、日本を訪問し滞在するユダヤ人にトラクトも用いられ、多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われます様に。その為に私達が情熱を持って、神様の愛でおもてなしをし、伝道する事が出来ます様に用いて下さい。又、ユダヤ人伝道の重荷を持つ後継者達が起こされます様に。

☆日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。

☆2020年春のユダヤの祭り☆



☆3月9日 プリム(ハグ・ハ・プリム)

エステル記の祭り。王妃エステルがハマンによるユダヤ人絶滅計画からユダヤ人を救ったことを記念する祭り。仮装をして賑わいます。

☆4月8日~15日 過越しの祭り(ハグ・ハ・ペサッハ)

出エジプト記の祭り。イスラエルの民がモーセに率いられて出エジプトをしたことを記念。お祭りの期間中、イースト菌の入ったパンは禁止され、種なしパンを食する。

☆4月29日 独立記念日(ヨム・ハ・アツマウト)

1948年のイスラエル建国を祝い、独立の苦労と喜びを分かち合う。

2020年3月春号発行(季刊誌)